



2016年2月6日(土) ●場所: 六稜会館3Fホール ●時間: 13時30分開場 14時開演 ●維持協力金500円(学生無料)

風土工学誕生物語 — 地域づくりに“心”を入れる工学 —



竹林征三・74期

富士常葉大学名誉教授・工学博士・技術士

(特定非営利活動法人) 風土工学デザイン研究所 理事長

環境防災研究所長

■プロフィール

1943年 兵庫県生まれ
1969年 京都大学大学院工学研究科修士修了
1969～1997年 建設省に勤務
1996年 工学博士(京都大学)
1997～2000年 土木研究センター 風土工学研究所長
2000～2010年 富士常葉大学環境防災学部教授
付属風土工学研究所長
2010年 富士常葉大学名誉教授
2011年 風土工学デザイン研究所理事長(現在に至る)
2012年 山口大学時間学研究所客員教授(2013年まで)

■主な著書

「風土工学序説」「風土工学の視座」「ダムのはなし」「環境防災学」
「ダムと堤防」「風土千年・復興論」その他多数。
新しい工学体系として「風土工学」及び「環境防災学」を構築し、
その普及啓発につとめている。

■主な受賞

1993年 建設大臣研究功績表彰
1998年 科学技術庁長官賞
1998年 前田工学賞 優秀博士論文賞
2003年 国土交通大臣 功労者表彰
2013年 富士学会功労者表彰
2014年 瑞宝小綬章
2015年 日本水大賞 特別賞
その他多数。



風土五訓

一、五感で感受し、六感で磨き、
その深さを増す内に秘めたる、
地域の個性、地域の誇りが風土なり
一、そこに住む人々の深き思いに、
思いの度合いに応じ答えてくれ、
他の地の者が、違いを認知すれば、
より光る地域の個性それが風土なり
一、地域の人の心を豊かに育み、
その地の文化の花を咲かせてくれる、
鳳のはばたきそれが風土なり
一、悠久の時の流れで形成され、
自己の存在を認識させてくれる外界、
自己了解のもと、
自己の自由なる形成に向かわせてくれる外界、
それが風土なり
一、そこで住む人々とその地が発し、
人々の感性をゆり動かす、
そこはかとなく漂う、
ほのかなゆかしい波動それが風土なり

風土工学の思い

その地の過去が作ってきた風土 それだけの風土ではなく
未来への夢が広がる 風土にしたい。
その地の現在が作っている風土 それだけの風土ではなく
未来への発展の種を育む風土にしたい。
その地の人が育んできた風土 それだけの風土ではなく
誇りえる個が自他に認知される風土にしたい。
時空を越え 一度しか接し得ない風土
自由なる形成に向かわせてくれる風土なので
自他にとって存在の意義を育む風土にしたい。
森羅万象総てにとって
夢ある明るい未来に向けて
かけがえの無い風土なので
ただそれだけの風土だけでは足りない。